



長浜会
くすのき しんすけ
楠 晋典 議員

多言語対応のススメ

Q 在留外国人が地方にも増えてきている。来庁時の対応は？

A 外国人来庁者のほとんどが英語を話せる方が多い。外国語を話せる職員が対応するか、翻訳アプリなどを利用して対応したり、受け入れ施設の代表者のアテンドもあるので、いまのところ問題にはなっていない。

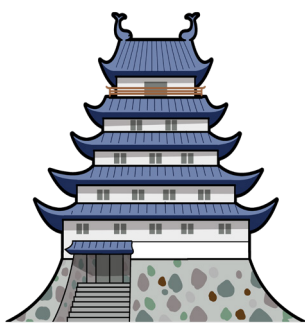
Q 技能実習制度が改正され、転籍・転職も可能になるとのこと、日本人と同じように個人的な就職も増えてくると思う。これまで以上にいろいろな対応が必要となり、例えば町内会や日本語学校などの協力も必要になってくるのではないか。

A 外国人の方が安心して暮らせるよう情報発信や相談体制の強化、地域との交流を広げるなど、今後は雇用される企業や団体、留学生を受け入れる日本語学校や地域との連携を図り、具体的にどのようなことができるか検討したい。

初市の会場は島原城内でも可能か

Q 霊丘公園がプールの建て替え予定で、初市の会場も変更が必要となるが、島原城内はどうか。来年は400年のアピールも必要であるし、初市の伝統を感じる雰囲気は抜群である。城下町シンポジウムの状況から、出店スペースや駐車場など可能であると思うが、文化会館駐車場を利用した送迎をすることで、駐車スペースは最小限にとどめ、開催できないか。

A 文化会館も営業しており、平日に小・中学校の運動場を借りることは難しい。現在の自家用車の利用状況から、駐車場がかなり問題になると思う。



【その他の質問項目】

- ◇町内会加入と市民清掃
- ◇地域経済
- ◇学校教育の現場の多忙化は解消できるのか
- ◇出退勤簿システム



庶民の会
ほんだ まつひろ
本多 松弘 議員

持続可能なまちづくり

Q まちづくりイベント間の連携や運営の効率化が課題では？

A 来年は築城400年なのでイベントが複雑に絡む可能性がある。重複しない方がいいものや同日開催で相乗効果をはかれるものもある。年間行事予定を2月上旬に取りまとめ、予定段階での早めの情報発信も模索したい。

Q まちづくりイベントの支援や、連携強化を図るためのイベント連絡協議会を組織して取り組んでいる事例もあるが？

A 支援の相談は各公民館で行っているが、部署にかかわらず職員に相談してもらえば、こういった支援ができるか協議したい。

Q 島原LINEの登録者数拡大と今後の利活用について。

A 現在の登録者数は8627人で、まずは1万人を目指し取り組みたい。閲覧板をデジタル化している自治体もあり、色んな角度から研究し発信していきたい。

持続可能な人づくり

Q 職員の残業の管理と、市役所の時間短縮も含めた議論も必要では？

A 各所属長が時間外勤務の必要性を見極めており、サービス残業はないと認識している。残業時間は、令和4年度月当たり平均12・1時間。窓口時間の短縮等は、他市の状況を見ながら慎重に研究したい。また、DX導入による解決に期待したい。

Q GIGAスクールの現状と情報モラルの教育、端末の更新について。

A 小・中学校では主に授業で積極的に活用し、高学年は家庭に持ち帰り、家庭学習に利用している。道徳や学級活動、総合的な学習の時間に情報モラルを身につけるような内容に取り組んでいる。端末の更新は国の方針に基づき、計画的に行いたい。

【その他の質問項目】

- ◇校務支援システムの活用
- ◇島原復興アリーナの施設整備
- ◇当初予算
- ◇ランドセル支給事業
- ◇長崎ウォーキングアプリの活用

